

横地千仞・Rohen JW・Weinreb EL

カラーアトラス 人 体

解剖と機能 (第3版)

(A4判 156頁 4,944円(税込) 1991年 医学書院 刊)

斎藤 宏學

(群馬大学医療技術短期大学部)

医・歯学生のみならずコメディカルの学生の教育に第1に要求されるのが生理学と解剖学の教育である。

解剖学は人体構造の基本形態および構造の相互関係を理解することにある。コメディカルの解剖学教育には、多くの努力を費やしてなおいきわたらない恨みがあるのは、解剖学教育に携わっている者の実感である。中でも苦しむのは学生が構造の相互関係を理解し、把握することの困難さである。このようなことでなにか簡明でわかりやすい図書なり、アトラスがないものかと思案していた昨今であった。

ちょうど本書第3版に触れる機会を得、これならば特にコメディカルの学生の生体構造の理解に大きな助けになると思い、本書を紹介させていただくことにした。

本書の構成は総説と各論からなり、各論は局所解剖学に重点をおいて図示・説明されている。

まず本書の特徴は総説および各論ともに図は鮮明で、身体各部における臓器・器官の位置関係がきわめてわかりやすく示されていることである。加えて、各節において示されている断面像は勿論、頭部・胸部・腹部・上下肢の断面像とCT像との対応は、器官の立体正置についての理解をより容易にしている。またアトラスではあるが、説明は形態と機能とを関連づけて、簡潔にまとめられている。解剖学講義には系統解剖学を主とし、随所に局所解剖学を取り入れているが、初めに述べた構造の相互関係の理解が学生にとってどうしても難解となる。この問題の解消には、じっくりと視覚に訴えることが必要となっている。本書は

見事にこのことをとらえた書といえる。

医療技術者、特に理学療法士・作業療法士にとって体表解剖学の理解は必須といえる。本書では例えば皮下の筋と体表構造との対応が写真ではっきりと示され、学生にとって大変理解しやすくなっている。本書が体表解剖学を取り入れていることは意義が大きい。

コメディカルでは、解剖学用語はとかく和名偏重となりがちである。ラテン名は勿論必要と思われるが、今日の英語の普及からみれば、英名がどうしても必要になっていることはいうまでもない。本書はこのことから解剖学の理解に有益な図版としてばかりでなく、解剖学用語に英語使用の大きな助けとなっている。

医学書、特に図版はとかく高価で、入手するのにやや躊躇いがちになる昨今ではあるが、本書は定価は4,944円と大変廉価である。

解剖学あるいは解剖生理学として習っているコメディカルの学生には、本書をこれらの教科の有用な副読本として是非お勧めしたい。